

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	大阪大学(吹田)調整池上部立体駐	階数	地上2F
建設地	大阪府吹田市山田丘	構造	S造
用途地域	第2種中高層住居専用地域、法22条	平均居住人員	207 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年2月 予定	評価の実施日	2020年1月24日
敷地面積	994,412 m ²	作成者	川又
建築面積	1,781 m ²	確認日	2020年2月3日
延床面積	3,419 m ²	確認者	川又

本図を右クリックし、「図の変更」を選択していただくことで、外観写真を貼り付けることができます。

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 0.7</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★ C: ★</p> <p>環境品質 C</p> <p>環境負荷 L</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q1 室内環境</p> <p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>LR1 エネルギー</p> <p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR3 敷地外環境</p>

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質</p> <p>Qのスコア = 2.4</p>		
<p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア = 0.0</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア = 2.8</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>Q3のスコア = 2.2</p>
<p>LR 環境負荷低減性</p> <p>LRのスコア = 2.8</p>		
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア = 0.0</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア = 2.8</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア = 2.9</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>建物はシンプルな形状とし、周囲に緑地を配置するなどして環境に配慮している</p>	<p>その他</p> <p>特に無し</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>該当無し</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>バリアフリーに配慮している</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>敷地内に緑地を配置し、環境に配慮している</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>照明器具にLEDを採用している</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>有害物質を含まない材料を用いる</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>駐車スペースを確保し、渋滞抑制に配慮している</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H31-0150

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	大阪大学(吹田)調整池上部立体駐車場						
	建設地	大阪府吹田市山田丘						
	用途/区分	工場						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B-	
①	CO2削減						評価対象外	
②	みどり・ヒート アイランド対策						2	
③	建物の断熱性						評価対象外	
④	エネルギー削減						評価対象外	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
	エネルギー消費量の報告						報告しない	
【評価項目】								
	項目	評価内容				スコア	評価	
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価					-	
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	2	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				2.0		
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価					-	
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価					-	
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価					—	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
	先進的技術の導入							
	特に配慮した事項							